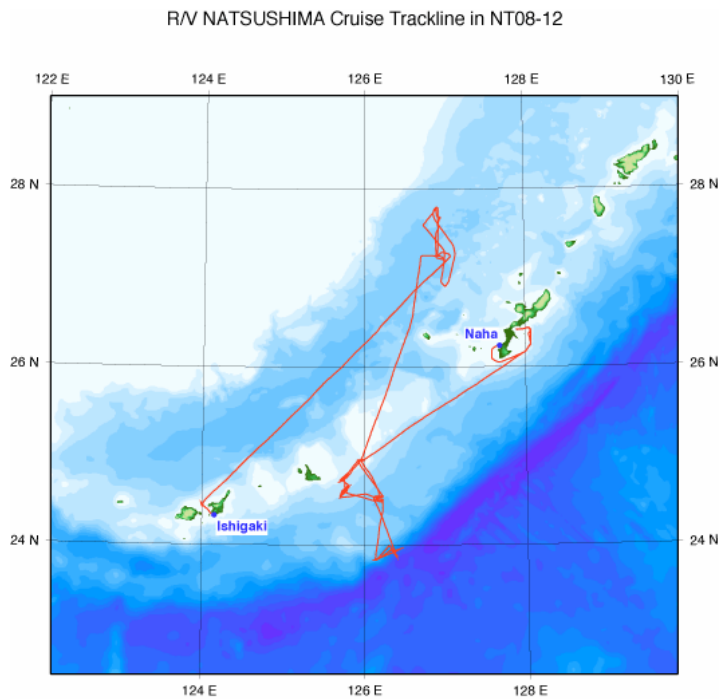


## クルーズサマリー

### 1. 航海情報

- (1) 航海番号・使用船舶： NT08-12・R/V「なつしま」
- (2) 航海名称： 平成 20 年度深海調査研究「ハイパードルフィン」調査潜航
- (3) 課題代表研究者・所属機関・研究課題名：  
木村聡・東京大学・深海性オタマボヤのセルロース形成と構造  
藤原義弘・海洋研究開発機構・ホネクイハナムシ類の分散と深度分布に関する現場実験
- (4) 主席研究者・所属機関： 木村聡・東京大学
- (5) 航海期間： 平成 20 年 6 月 23 日～7 月 4 日（那覇港～石垣港）
- (6) 航跡図：



GMT 2008 Aug 27 09:56:35 R/V NATSUSHIMA NT08-12 Cruise Trackline. Copyright 2008 JAMSTEC.

### (7) 調査海域：

伊平屋海丘および伊是名海穴、南西諸島海溝沖縄南方沖

### 2. 実施内容

#### (1) 調査概要：

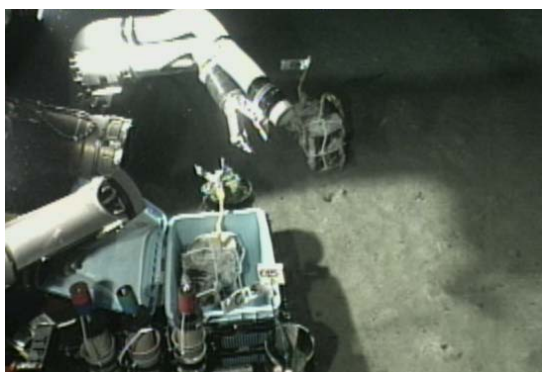
沖縄トラフ伊是名海穴の調査で報告されている、深海性オタマボヤを採取し、種の同定およびセルロース性の餌摂装置であるハウスの構造を調べることを目的に、ハイパードル

フィンによる調査潜航を行った。同時に熱水鉱床に生息する生物の採集を行った。

ホネクイハナムシ類をはじめとする絶対鯨骨依存生物群集の形成の仕組みならびにこれら生物群集の海底間の移動に関する知見を集積することを目的に、深度の異なる各海底ポイントへ大型鯨類の脊椎骨を設置した。今後、これらの海底設置物の経年変化を調査する予定である。また各海底ポイントにおける生物相の調査を行った。

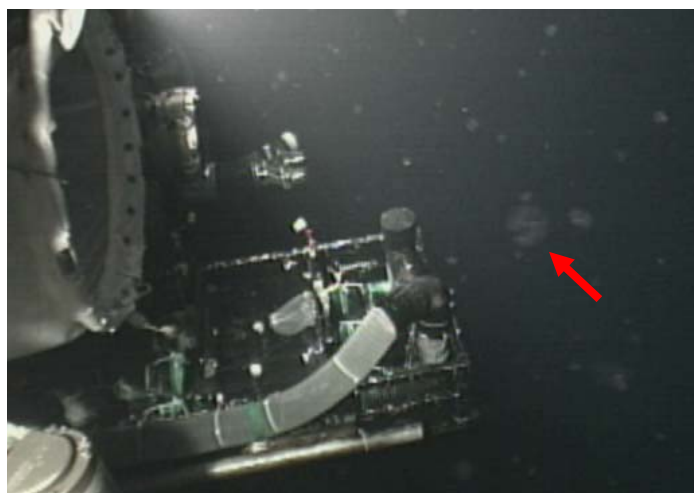
## (2) 航海中に行った主な潜航調査内容

Dive#856 - #862 の計 7 回の潜航により、目的とする各深度（250, 500, 1000, 2000, 4000, 7000 m）への鯨骨や丸太の設置および採泥や採水、生物採集による海底調査を行った。



鯨骨などの海底への設置（Dive#856）

Dive#863 - #865 において深海性オタマボヤの採集を行った。伊是名海穴では、バクテリアの密度の高い熱水プルーム付近でオタマボヤの群集を確認、オタマボヤ生体およびハウスの採集を行った。同潜航では、熱水湧水付近の生物採集も行った。



Dive#856 において熱水プルームで観察された深海性オタマボヤのハウス（矢印）